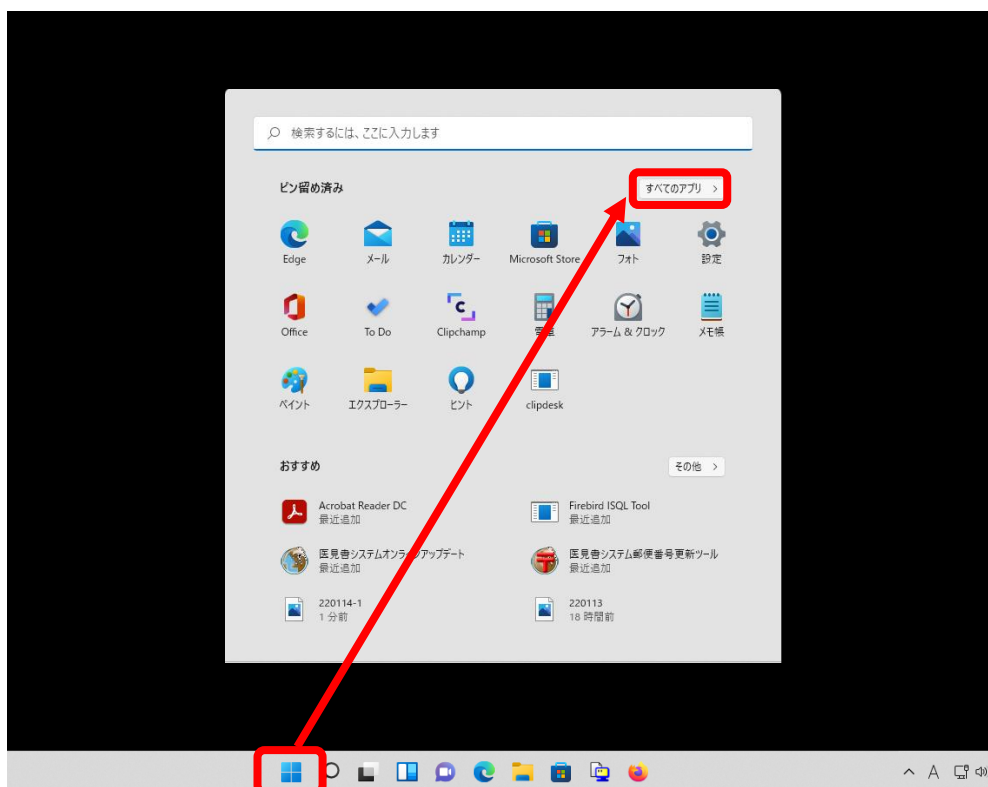


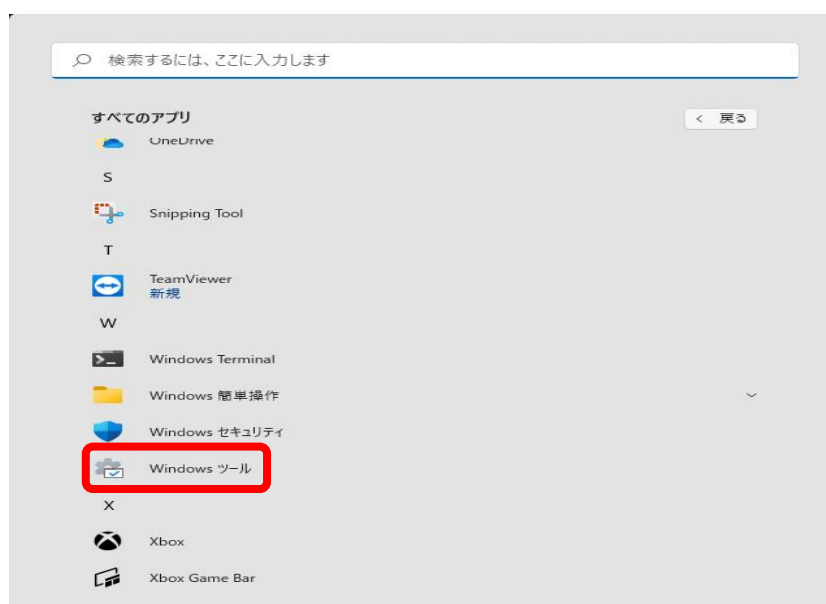
【複数台で医見書を使用する場合の設定方法:サーバ PC が Windows11 の場合】

医見書は、データベースが配置されている他のコンピュータに接続することができます。
これにより、複数のパソコンから一つのデータへと接続し、編集することが可能になります。
設定方法については下記操作をご確認ください。

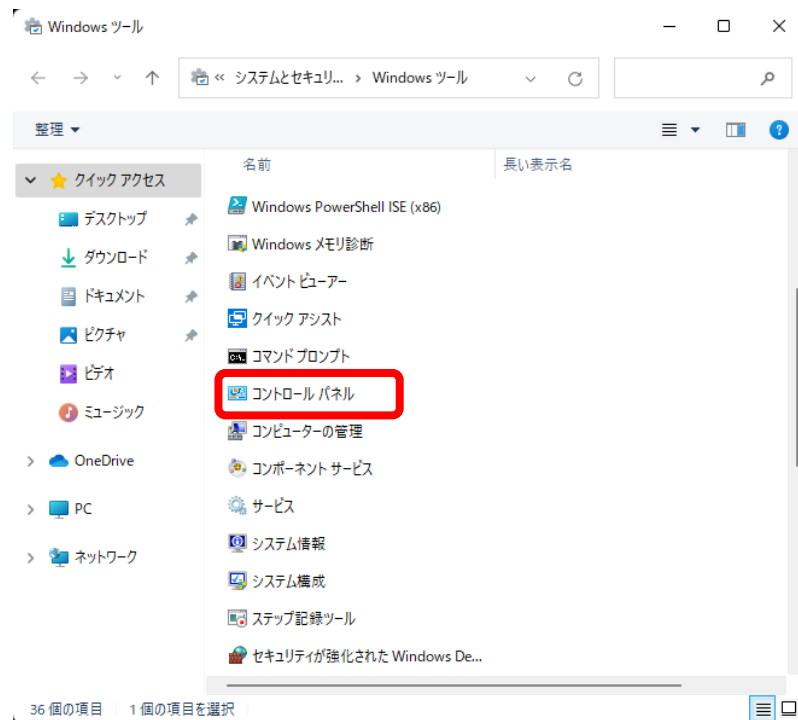
- 1.Windows[スタート]をクリックすると、中央にメニュー画面が表示されるので、右上の[すべてのアプリ]をクリックしてください。



- 2.[すべてのアプリ]画面が表示されましたら[Windows ツール]をクリックします。



3. [Windows ツール]画面が表示されましたら、[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。



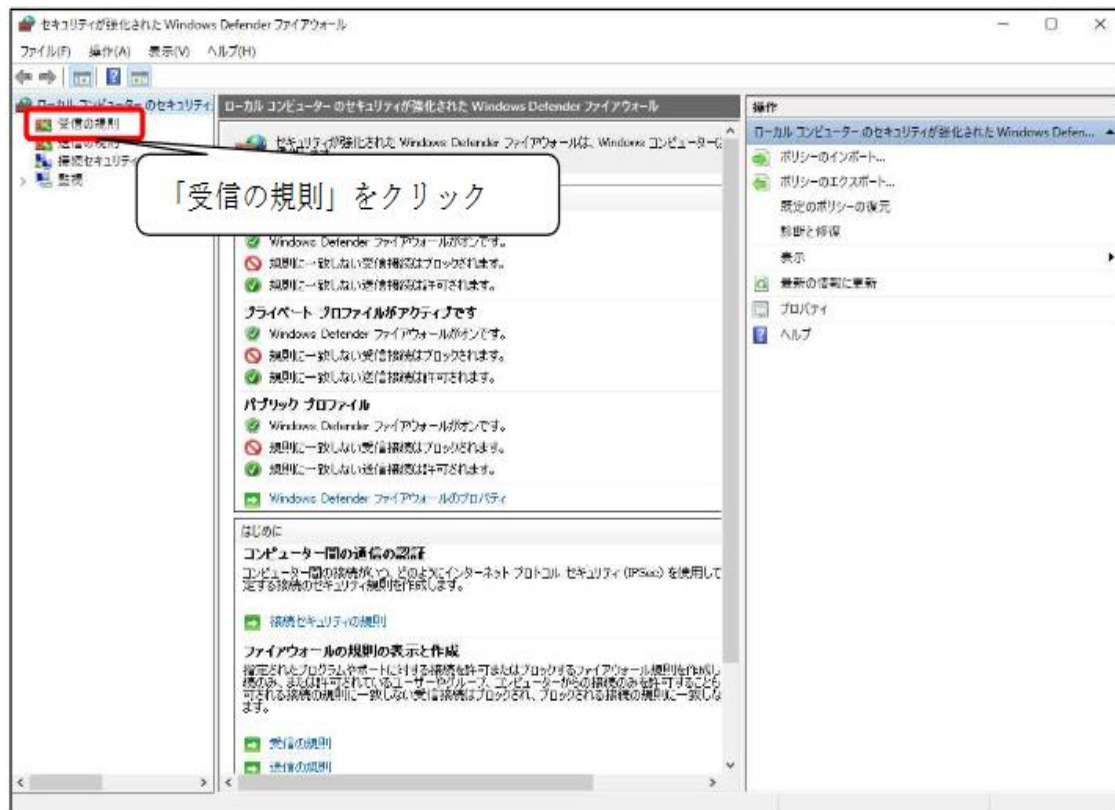
4.【コントロールパネル】画面を表示させ、[Windows Defender ファイアウォール]をクリックします。
※【コントロールパネル】の表示方法は、「大きいアイコン」か「小さいアイコン」を選択してください。



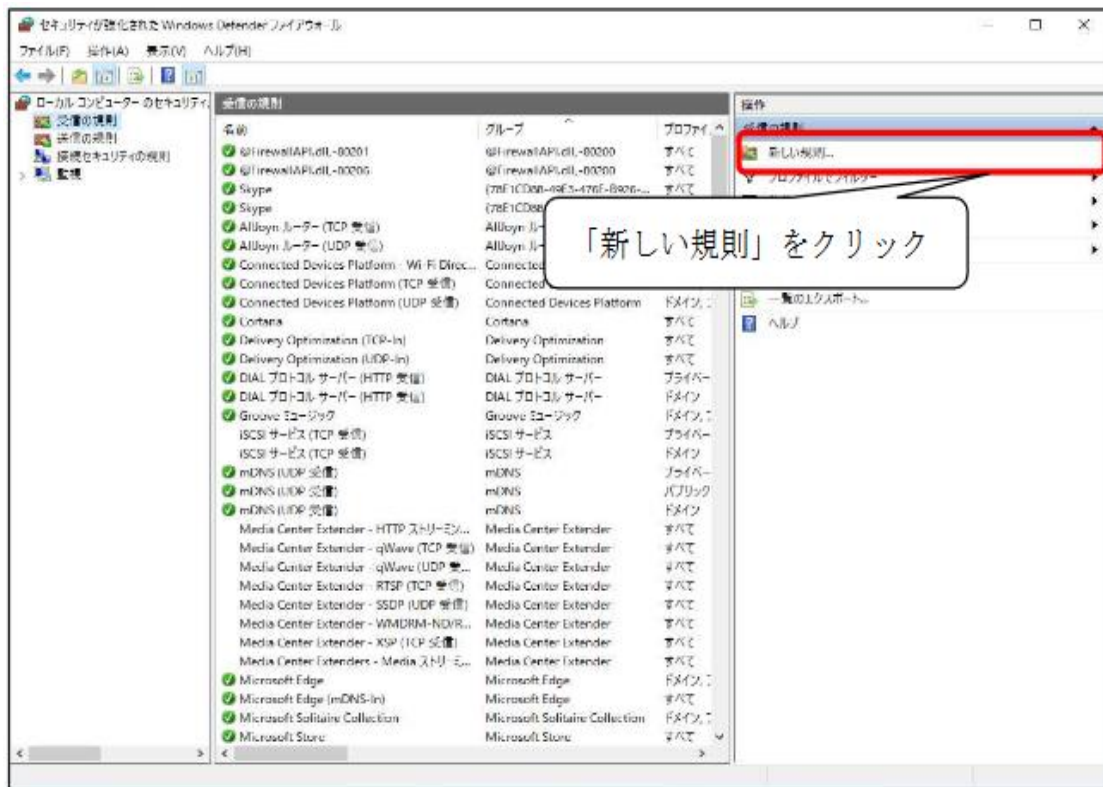
5. 【Windows Defender ファイアウォール】画面が表示されたら、[詳細設定]をクリックします。



6. セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール】画面が表示されますので、[受信の規則]をクリックします。



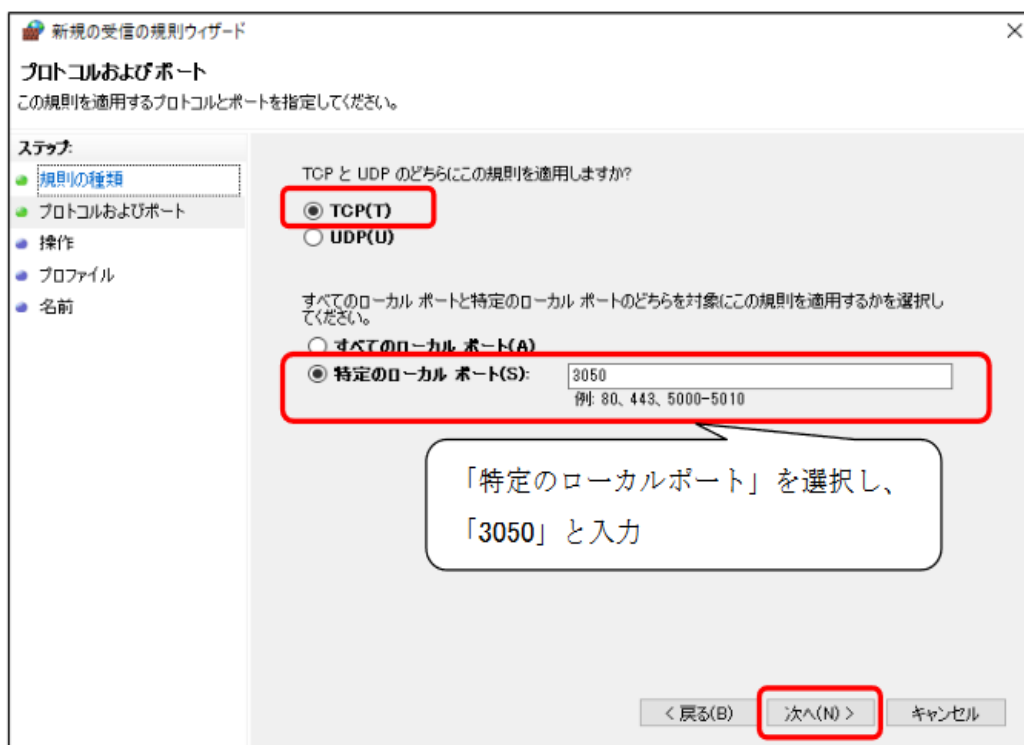
7. 「受信の規則」が表示されます。「新しい規則」をクリックします。



8.【新規の受信の規則ウィザード】画面が表示されます。「規則の種類」で「ポート」を選択し、「次へ」をクリックします。



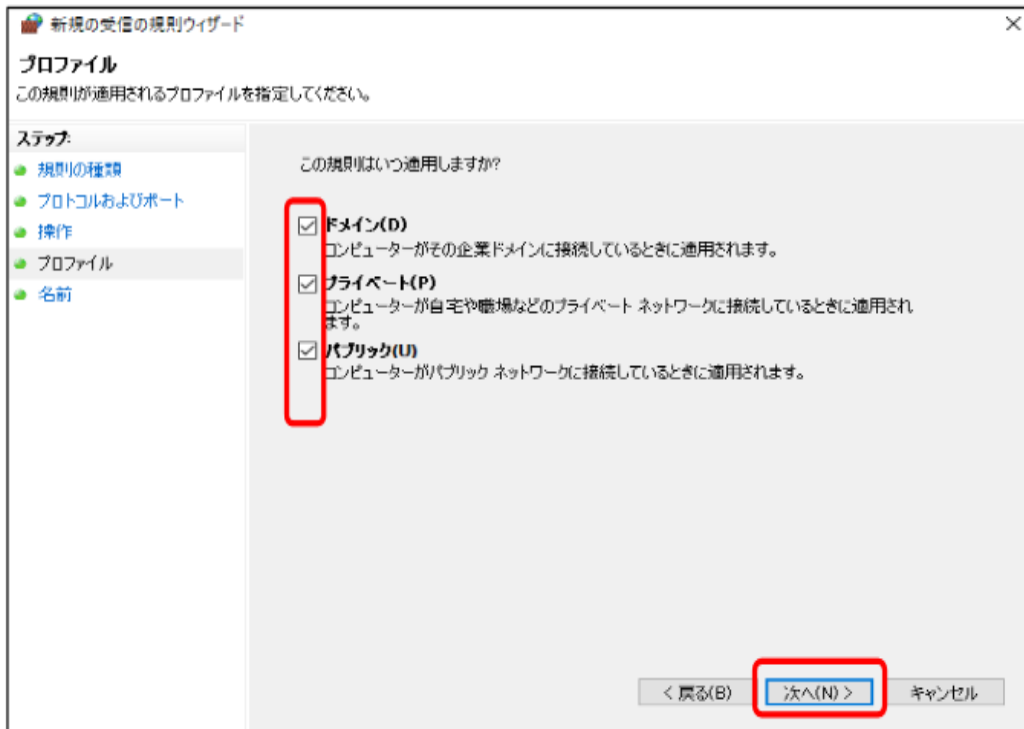
9.「プロトコルおよびポート」が表示されますので、「TCP」を選択し、「特定のローカルポート」を選択、右横の空欄に Firebird のポート番号である「3050」と入力し、[次へ]をクリックします。



10.「操作」が表示されます。「接続を許可する」を選択し、「次へ」をクリックします。



11.「プロファイル」が表示されます。すべてにチェックがついているのを確認し「次へ」をクリックします。



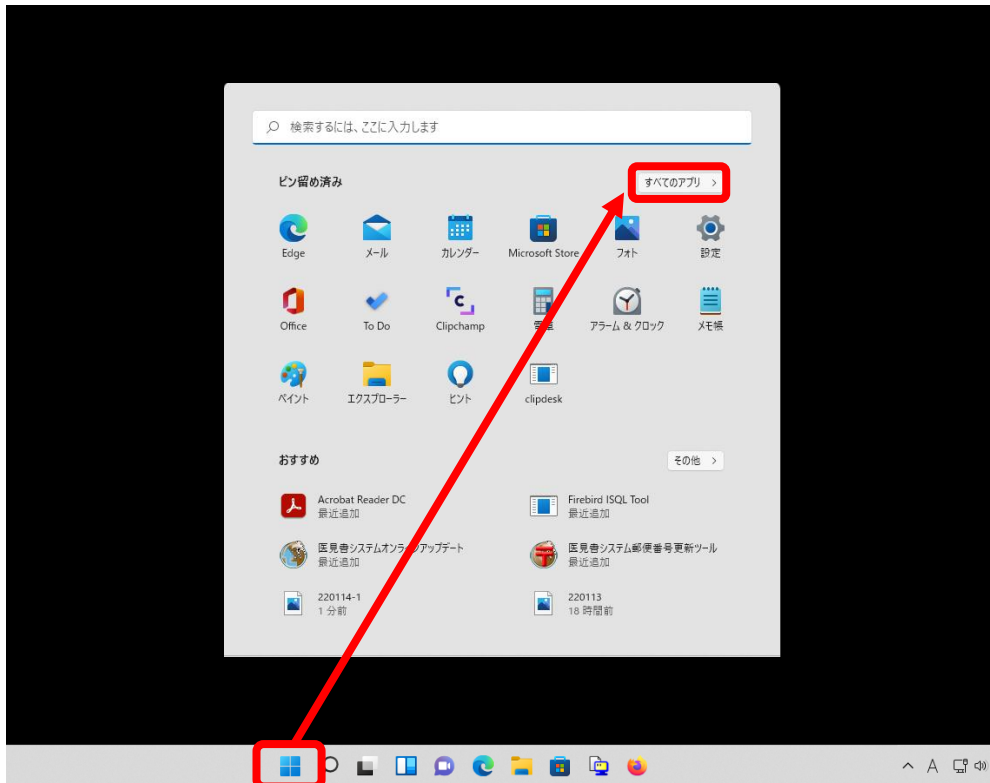
12.「名前」が表示されるので「名前」に「Firebird」と入力し「完了」をクリックし開いている画面をすべて閉じてください。以上で、接続先 PC(Windows11 の場合)の設定である「Firebird のポートの設定」は終了となります。



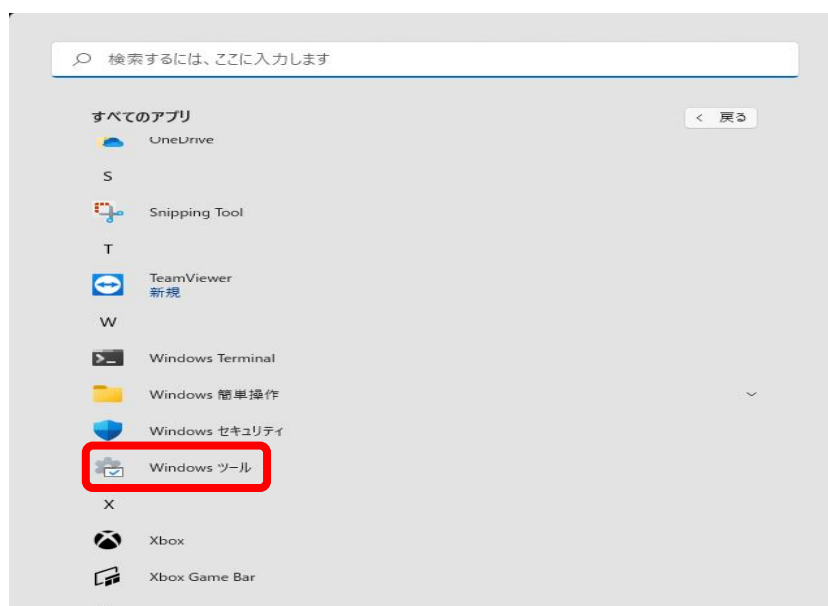
【IP の確認方法】

共有するクライアント PC 側の医見書ではサーバ PC の IP を設定する必要があります。
そのため、サーバ PC(Windows11)で下記操作をおこなってください。

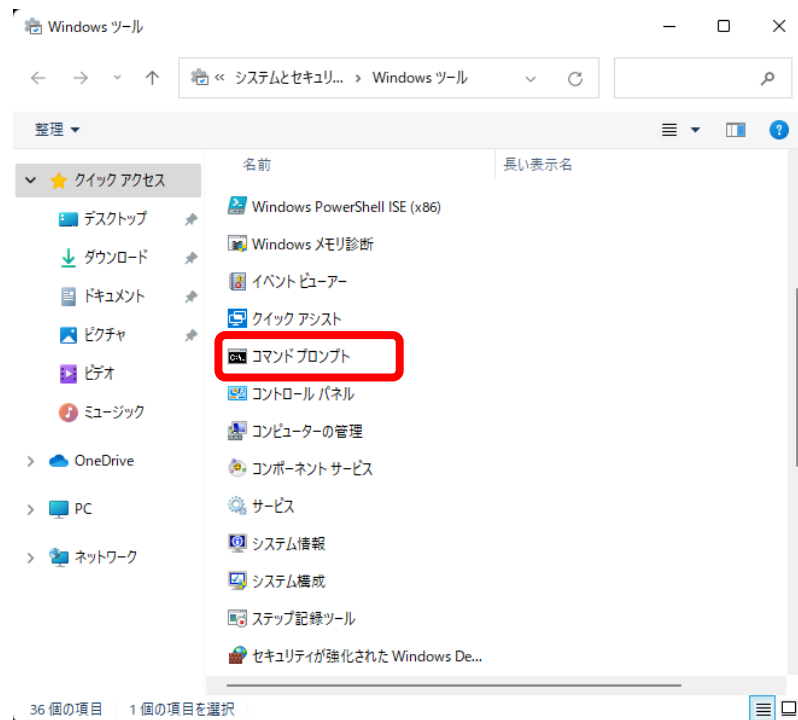
- 1.Windows[スタート]をクリックすると、中央にメニュー画面が表示されるので、右上の[すべてのアプリ]をクリックしてください。



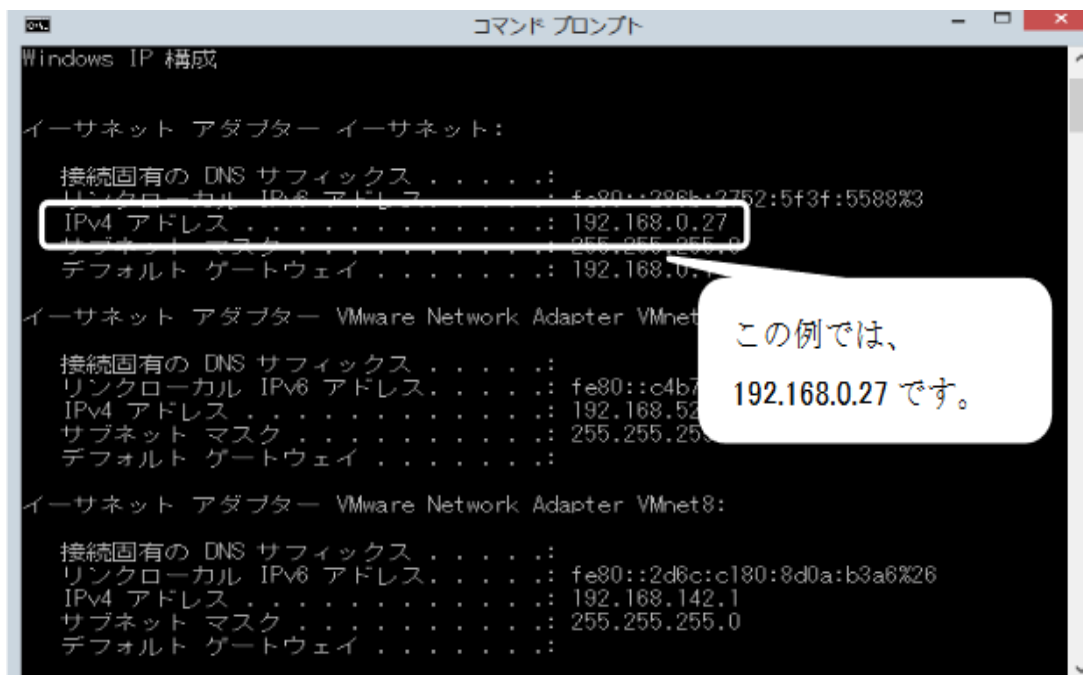
2. [すべてのアプリ]画面が表示されましたら[Windows ツール]をクリックします。



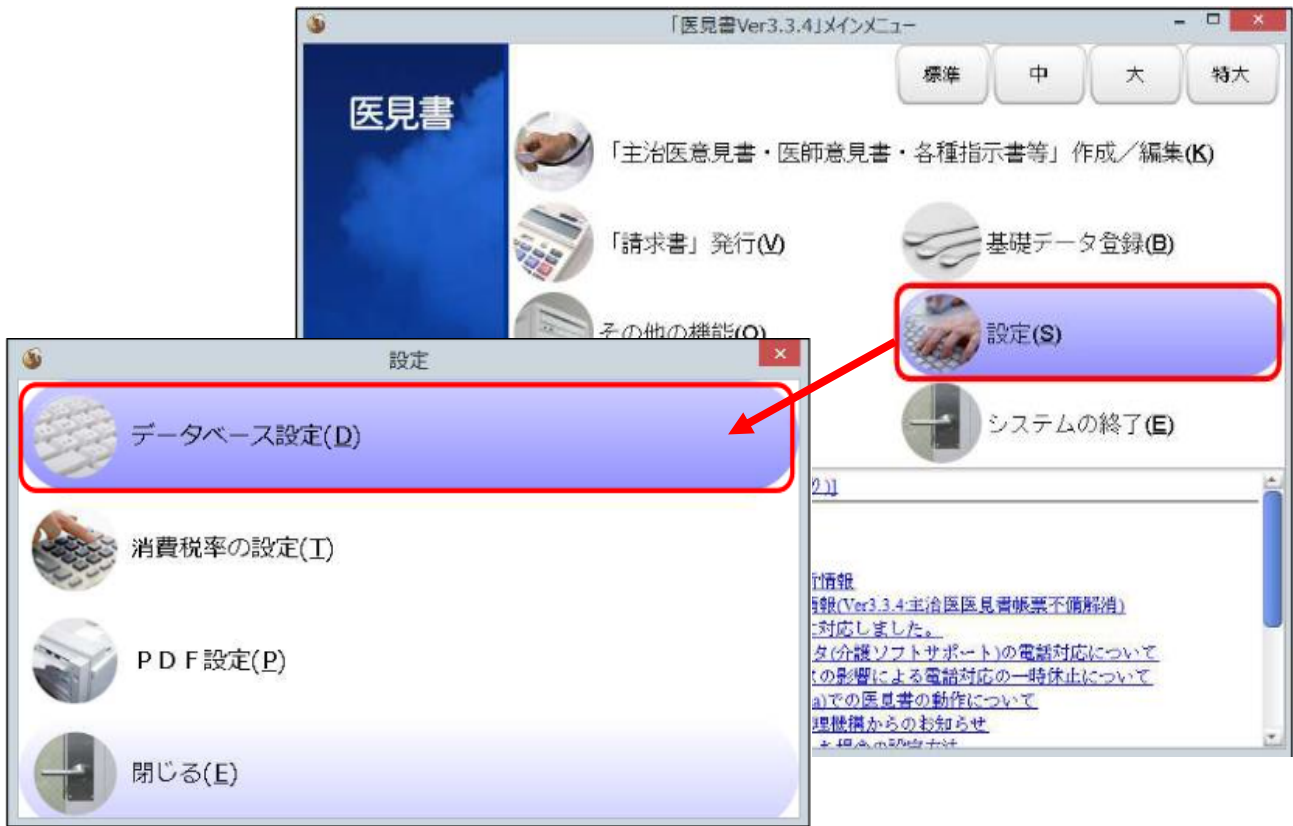
3. [Windows ツール]画面が表示されましたら、[コマンドプロンプト]をダブルクリックしてください。



4. コマンドプロンプトの画面が表示されましたら、[ipconfig]と入力後、[Enter]をクリックすると IP が表示されますのでメモをお取りください。

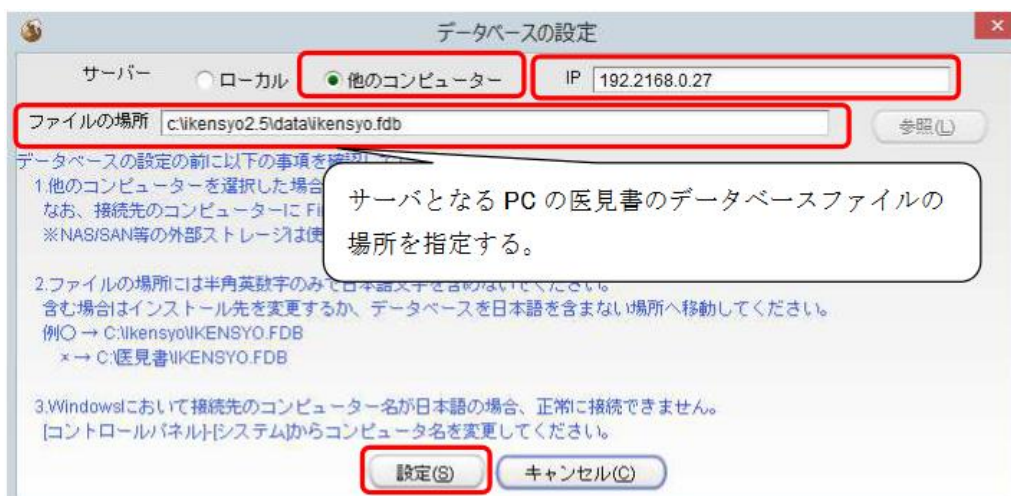


- 5.サーバ PC で IP を確認後、クライアント PC に移動していただき医見書を起動後、[設定]をクリック後、
[データベース設定]をクリックしてください。



6. 【データベースの設定画面】が表示されますので、[サーバ]の項目は「他のコンピュータ」にチェックを入れ、
[IP]はサーバ PC で確認された IP アドレスを入力してください。

また[ファイルの場所]には、サーバとなる PC の医見書のデータベースファイルの場所を指定します。
※サーバ PC の医見書で[ファイルの場所]がわからない場合は、サーバ PC 上で医見書を起動後、
[設定]→[データベース設定]にてデータベースファイルの場所を確認できます。



- 7.上記設定できましたら、下部の[設定(S)]をクリックすることで共有が可能となります。